

道内最古の和鏡！ 今年も驚き！ 注目の発掘成果

13年目となる幌内地区での厚幌ダム建設事業に関連する遺跡発掘調査は、北海道埋蔵文化財センターと合わせて町内外からの作業員等173人体制で9カ所を行いました。このうち町教委で調査した上幌内2遺跡の大変貴重な出土品を紹介いたします。

■上幌内2遺跡

遺跡は厚真川と夕張へ抜けるショロマ川との合流点に面する高台にあります。今から約6,200～約3,000年前の縄文時代の竪穴式住居跡や焚き火跡、シカ猟の落とし穴のほか、今から約800年前と約400年前と思われる北海道の先住民族のアイヌ民族のお墓5基などが見つかりました。

特にアイヌ民族のお墓は、造り方が方形状や円形に掘り下げてから墓穴を掘る2つのタイプがあり、方形タイプは地層などから古い時期のもの、円形タイプは今から400から500年前のものとなりました。古い方形タイプの4基のお墓には道内最古の和鏡「秋草双鳥文鏡」（平安時代・1150年頃）や日本刀、漆塗りの鞘に入った刀や漆塗りのお盆、縫い針、古銭、絹織物などの高価な和産物とサハリン経由でもたらされた、大陸産のコイル状装飾品やガラス玉、鉄製の腕輪が副葬されていました。和鏡+ガラス玉+古銭はアイヌ民族の女性の伝統的な宝物「タマサイ（首飾り）」のルーツと思われます。これらの豊富な副葬品は、本州とサハリン、シベリアとの活発な交流・交易のもと、アイヌ民族が南と北の文化を受け入れて、自由で豊かなアイヌ文化を築きあげてきたことが分かるものです。

出土した副葬品は、現在、奈良県にある元興寺文化財研究所で分析保存処理が行われており、様々なことが判明してくると思います。そしてアイヌ民族の、厚真町の、北海道の宝物となることでしょう！



◁上幌内1遺跡で発見された
約800年前の日本刀と蝦夷
太刀

道内最古の和鏡
「秋草双鳥文鏡」▶



第1回厚真町中学1年生 英語暗唱大会を開催

1月13日に厚真町英語教育推進委員会主催による町内の中学1年生を対象とした英語暗唱大会が総合ケアセンターゆくりで開催されました。

同委員会ではこれまでも、中学2・3年生対象、小学生対象の英語暗唱大会を行っており、中学1年生を対象とした大会は、今回が初の試みとして実施されました。

審査の結果、第1位 金澤美玖さん(厚真中)、第2位 森山明日香さん(厚南中)、第3位 清野綾花さん(厚南中)、第4位 兼本海音さん(厚南中)が入賞しました。



1月定例教育委員会

1月30日に開催された定例教育委員会の会議内容について報告します。

◆報告事項

厚真町総合教育会議/厚真町教育フォーラム/第67回厚真町成人式/第35回厚真町小中学校スピードスケート記録会/第20回 室内ソフトボール大会/読書感想文コンクール表彰式ほか(7件)

◆議案

厚真町立学校職員服務規程の一部改正について

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ



☎27-2494